学部・学科ごとの名称及び教育研究上の目的, 取得可能な学位, 入学定員, 収容定員

2021年9月21日 現在

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

学部・学科	取得可能な学位	入学定員	収容定員	人材の養成及び教育研究上の目的
	※本学では編入学定員を設定していない。			
	学士	1,650	6,510	学校教育法に基づき，豊かな教養を授け，深く専門の学術を教授研究し，もって文化の向上に寄与するとともに，人類福祉の増進に貢献することを目的とする。
理工学部 ※2019年度以前入学生は、旧学部名（工学部）を用いる。	学士(工学)，学士(理学)	620	2,745	「理論と実践」という教育理念に基づき，現実に即した発想のもとに理論的裏付けを持った実践によって，社会の要請に対応できる技術的能力を備えた人材を養成することを目的とする。
機械工学科	学士(工学)	120	480	機械工学の専門知識の修得と実践的学習を通して，工業が自然や人間社会に及ぼす影響を理解しながら問題発見・問題解決をしてもの作りができる能力及び論理的な思考に基づいたコミュニケーション能力を向上させ，社会の要請に応えられる人材を養成することを目的とする。
機械システム工学科	学士(工学)	110	440	機械工学，電気工学，制御工学の基礎を幅広く学修し，機械システムを設計する実践的な経験を積むことにより，社会の多様な要請に応じた機械システムを構築できる技術者を養成することを目的とする。
電気電子通信工学科 ※2018年度以前入学生は、旧学科名（電気電子工学科）を用いる。	学士(工学)	150	560	電気電子工学の基礎となる知識を十分に修得した上で，幅広く専門知識を身に付け，さらに学生実験や卒業研究を通して実践的な経験をつむことにより，進化する社会の中で技術者として生き抜いていく力を養い，現実に即した発想のもと電気電子分野の知識に基づく理論的裏付けを持った実践によって多彩かつ柔軟に応用できる技術者を養成することを目的とする。
医用工学科	学士(工学)	60	240	工学的分野と医学的分野の両方の知識をバランスよく修得し，生体の機能と構造，及び，疾病病態とその治療に関する総合的な理解を深め，両分野を有機的に融合させることで生体情報機器や先端治療機器の研究開発ができる人材，さらには，医療機器の進歩に柔軟に対応できる人材の養成を目的とする。
応用化学科 ※2020年度以前入学生は、旧学科名（エネルギー化学科）を用いる。	学士(工学)	75	295	化学・エネルギーに関連する物質，材料，デバイス及びシステムに関する理解を深めることで高度な専門知識・能力を修得し，化学的な視点に立って環境にやさしいクリーンなエネルギーの創成，変換，貯蔵及び利用に必要な高機能性物質や材料並びにデバイスやシステムの開発に貢献できる人材を養成することを目的とする。
原子力安全工学科	学士(工学)	45	180	原子力の技術継承という社会・産業界の要請を満たすために，原子核や原子力安全の正しい理論学修に加えて放射線を扱う実務を交えた学修によって，高度の原子力理論及び技術を手掛けることのできる専門性を有する技術者の養成を目的とする。
自然科学科 ※2020年4月新設。	学士(理学)	60	120	物理学・化学・生物学・地球科学・天文学及び数学といった自然科学に関する幅広い知識の涵養により，総合的な見識と健全な判断力を醸成し，自然科学における様々な現象を理学的視点により探究できる人材や広範な理学分野の学術的発展に寄与する調査分析能力を身につけた人材を育成することで，複雑化および多様化する社会に柔軟に対応できる人材や科学と社会の架け橋となって人類の持続可能な進歩や福祉に貢献する人材を養成することを目的とする。
建築学科 ※2020年4月学生募集停止。	学士(工学)	－	230	科学技術が高度に発展した現代において，歴史・文化を踏まえた上で都市・地域を再生し，人間生活や社会機能の高度化・複雑化に対応でき，自然環境と調和できる建築・都市を実現するために，人間としての幅広い教養，建築学に係わる総合的な基礎能力及び応用能力を培い，広く社会の発展に貢献できる建築設計者・建築技術者の養成を目的とする。
都市工学科 ※2020年4月学生募集停止。	学士(工学)	－	200	工学の基礎力及びシビルエンジニアリングに関する実務の理解・デザイン能力を含む総合的問題解決能力をそなえた，社会の中核となる人材を育成すること，並びに人間―自然環境―社会システムの健全かつ持続的な共生関係を理解し，安全で快適な都市環境の実現に向けて，都市の構築・維持管理，都市環境の改善・創造，及び災害に強い都市づくりに貢献できるエンジニアを養成することを目的とする。
建築都市デザイン学部	学士(工学)	220	440	建築、社会基盤施設から都市デザインまでをフィールドとし、持続的な建築・都市の創造・再生を実現するため、社会の要請に対応できる高い能力を備えた人材を養成することを目的とする。
建築学科 ※2020年4月新設。	学士(工学)	120	240	科学技術が高度に発展した現代において，歴史・文化を踏まえた上で都市・地域を再生し，人間生活や社会機能の高度化・複雑化に対応でき，自然環境と調和できる建築・都市を実現するために，人間としての幅広い教養，建築学に係わる総合的な基礎能力及び応用能力を培い，広く社会の発展に貢献できる建築設計者・建築技術者の養成を目的とする。
都市工学科 ※2020年4月新設。	学士(工学)	100	200	工学の基礎力及びシビルエンジニアリングに関する実務の理解・デザイン能力を含む総合的問題解決能力をそなえた，社会の中核となる人材を育成すること，並びに人間―自然環境―社会システムの健全かつ持続的な共生関係を理解し，安全で快適な都市環境の実現に向けて，都市の構築・維持管理，都市環境の改善・創造，及び災害に強い都市づくりに貢献できるエンジニアを養成することを目的とする。
情報工学部 ※2019年度以前入学生は、旧学部名（知識工学部）を用いる。	学士(工学)	180	895	２１世紀の知識基盤社会において，高度な科学技術知識を有し，これらを総合的に活用できる人材を養成することを目的とする。
情報科学科	学士(工学)	100	400	情報科学に関する専門知識と応用能力を兼ね備え，技術を総合的に活用したシステムとしてのコンピュータの開発能力を持ち，世の中の要請に応えるべく，問題の本質を積極的に解決する能力を身に付けているだけでなく，コンピュータが豊かな社会に貢献するための倫理観をも身に付けている人材を養成することを目的とする。
知能情報工学科 ※2018年度以前入学生は、旧学科名（経営システム工学科）を用いる。	学士(工学)	80	315	数理的分析力や情報処理能力を基盤として，複雑なシステムを分析し，その結果から解決案や新しいシステムをデザインし，それをマネジメントと新しいビジネス展開することを通じて，社会に貢献できるマネジメント能力をもった総合的技術者を養成することを目的とする。
情報通信工学科 ※2019年4月学生募集停止。	学士(工学)	－	60	情報通信分野において，通信システムを支えるネットワーク，通信機器を構成するエレクトロニクスに関する基礎技術の修得，及び演習・実験，卒業研究などの実践的学習に基づく応用技術の修得を通じて，社会に貢献できる技術者を養成することを目的とする。
自然科学科 ※2020年4月学生募集停止。	学士(工学)	－	120	数学・物理学・化学・生物学・地球科学・天文学といった自然科学に関する幅広い知識の涵養により，総合的な見識と判断力を醸成し，自然科学の学術的発展に寄与する調査分析能力を身につけ，科学と社会の架け橋となって人類の持続可能な進歩や福祉に貢献する人材を養成することを目的とする。
環境学部	学士(環境学)	180	660	地域から地球規模に及ぶ環境問題を科学的に捉え，持続可能な自然環境や都市環境を創造し，経済システムを環境調和型に転換することによって，持続可能社会の実現に寄与することができる人材の養成を目的とする。
環境創生学科	学士(環境学)	90	360	持続可能な社会の基盤である生態環境と都市環境並びにそれらの相互関係性を理解するとともに，劣化した自然環境の保全・復元・創造や人間社会にとって快適で安全な都市空間創造についての理念と方法論を修得し，実社会において持続的な環境を創生する専門家として活躍する人材の養成を目的とする。
環境経営システム学科 ※2018年度以前入学生は、旧学科名（環境マネジメント学科）を用いる。	学士(環境学)	90	300	直面する環境問題は，地球温暖化，廃棄物問題と循環型社会づくり，化学物質の環境リスク，大気と水の保全，生物多様性の減少など，人間の日常生活と事業活動が原因で発生している。このような環境問題に対処するために，環境経営と環境政策を基軸とする教育と研究を推進し，持続可能な社会に向けた意思決定を行うことができる人材を養成することを目的とする。
メディア情報学部	学士(社会情報学)，学士(情報学)	190	730	人間社会や，情報通信技術が生み出す新しい情報環境を深く理解し，より良い社会実現に向け，社会的仕組みや情報システムを調査・分析・実現，評価・改善できる人材を養成することを目的とする。
社会メディア学科	学士(社会情報学)	90	360	グローバルな諸問題から身近なコミュニケーション問題までを，社会科学的視点から調査分析し，情報メディアを駆使した解決法を編み出し，社会に向けて説得的に提言できる人材，そのために必要な実践力ーリサーチ力，デザイン力，コミュニケーション力ーを備えた人材を養成することを目的とする。
情報システム学科	学士(情報学)	100	370	人々が幸福に暮らせる自然環境・社会環境を維持発展していく基盤として，多様なニーズに応える安全で安心な情報システムの実現に向けた諸課題に取り組むことで，優れたシステムを作り上げるとともに，その必要性を戦略的に提言・説明し実現に向けマネジメントできるアセスメント力を持った人材の養成を目的とする。
都市生活学部	学士(都市生活学)	160	640	魅力的で持続可能な都市生活の創造のため，生活者のニーズを構想・企画へと描きあげ，その実現のため事業推進，管理運営を行っていく，企画・実行業務を担う実践力のある人材を養成することを目的とする。
人間科学部	学士(児童学)	100	400	いのちを大切にし，平和と環境を保持し，人類の持続可能な発展をもたらすため，「保育・教育」「発達・心理」「文化」「保健・福祉」「環境」について総合的に理解し，その向上に貢献できる豊かな感性としなやかな知性を具えた高い専門性を持つ自立する人材の養成を目的とする。

研究科・専攻ごとの名称及び教育研究上の目的, 取得可能な学位, 入学定員, 収容定員

2021年4月1日 現在

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

大学院

		取得可能な学位	入学定員	収容定員	人材の養成及び教育研究上の目的
			344	724	
	博士前期課程	修士	302	604	工学並びに環境情報学に関する学術の理論及び応用を教授研究し，その深奥をきわめて文化の進展に寄与することを目的とする。
	博士後期課程	博士	42	120	
総合理工学研究科	博士前期課程	修士(工学),修士(理学)	276	552	理工学に関する高度な理論と実践力を修得し，学際的視野を持って，科学技術に立脚した社会貢献が出来る人材を養成することを目的とする。
	博士後期課程	博士(工学),博士(理学)	38	112	高い専門学力と語学力・情報活用能力を活かし，社会構造の変化に迅速に対応できる幅広い応用力と実践力を身に付け，課題を解決できる技術者・研究者を養成することを目的とする。 先端的な知識と技術を駆使し社会ニーズを意識しながら，着実に課題を解決するとともに新しい領域を開拓できる研究能力を備えた人材を養成することを目的とする。
※2017年度以前入学生は、旧研究科名（工学研究科）を用いる。					
機械専攻	博士前期課程	修士(工学)	60	120	
※2017年度以前入学生は、旧専攻名（機械工学専攻）を用いる。	博士後期課程	博士(工学)	8	24	
電気・化学専攻	博士前期課程	修士(工学)	66	132	
	博士後期課程	博士(工学)	8	24	
共同原子力専攻	博士前期課程	修士(工学),修士(理学)	15	30	
	博士後期課程	博士(工学),博士(理学)	4	12	
自然科学専攻	博士前期課程	修士(理学)	15	30	
※2020年4月新設。	博士後期課程	博士(理学)	2	4	
建築・都市専攻	博士前期課程	修士(工学)	54	108	
※2017年度以前入学生は、旧専攻名（建築学専攻）を用いる。	博士後期課程	博士(工学)	8	24	
情報専攻	博士前期課程	修士(工学)	66	132	
※2017年度以前入学生は、旧専攻名（情報工学専攻）を用いる。	博士後期課程	博士(工学)	8	24	
生体医工学専攻	－	－	－	－	
※2018年4月学生募集停止。修士課程は、廃止済みである。	博士後期課程	博士(工学)	－	－	
都市工学専攻	－	－	－	－	
※2018年4月学生募集停止。修士課程は、廃止済みである。	博士後期課程	博士(工学)	－	－	
システム情報工学専攻	－	－	－	－	
※2018年4月学生募集停止。修士課程は、廃止済みである。	博士後期課程	博士(工学)	－	－	
環境情報学研究科	博士前期課程	修士(環境情報学),修士(都市生活学)	26	52	環境と情報に関わる科学や人と技術の関係について，また，これらに関連する人間活動の本質を探究するとともに，社会における実践・研究・教育に携われる人材を養成することを目的とする。
	博士後期課程	博士(環境情報学),博士(都市生活学)	4	8	環境と情報に関わる科学や人と技術の関係について，学際性に注目した研究課題に取り組みつつ，構成力・論理力・表現力などの社会における実践において必要とされる能力を身に付けた人材を養成することを目的とする。 環境や情報に関する学際的な研究を深化させ，また，関連する領域における研究や教育に携われる人材を養成することを目的とする。
環境情報学専攻	博士前期課程	修士(環境情報学)	20	40	
	博士後期課程	博士(環境情報学)	2	6	
都市生活学専攻	博士前期課程	修士(都市生活学)	6	12	
	博士後期課程	博士(都市生活学)	2	2	

※修士課程2020年度以前入学生は、旧課程名（修士課程）を用いる。

※本大学院が適当と認めた場合には、博士（学術）の学位を授与することがある。